



# ぱんだぐみだより



平成 30 年 1 月 4 日

社会福祉法人 尚徳福祉会 保土ヶ谷保育園



新年あけましておめでとうございます。

ぱんだ組での生活も残り3か月。今年も元気いっぱい、笑顔いっぱい楽しく過ごしていきたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。



## 今月の目標

- \*寒さに負けず戸外でからだを十分に動かしてあそぶ。
- \*冬のあそびや自然現象に興味・関心をもち、友だちと一緒に試したり、工夫したりして楽しむ。



## 年賀状



昨年末に年賀状を作成し、みんなでポストに投函しました。戌年なので、いぬの折り紙を折って貼りつけました。最近折り紙を折るのがとても上手になり、自分たちで折り紙の本を見ながらさまざまなものを折っています。

近年、インターネットの普及で、年賀状を書くということが減ってきています。日本の良き風習を大切にしていきたいですね。



## お楽しみ会

12月16日に行われたお楽しみ会。

子どもたちが大好きな絵本『めっきらもつきらどおんどん』の劇を行いました。とても楽しそうに演じていましたね。なわとび、跳び箱、ボール投げも練習の成果があり、上手にできていました。

なわとびと跳び箱は、運動会を終えて10月中旬からあそびの中で行ってきました。なわとびは、最初は大縄から始め、できるようになったら一人なわとびへと移行しました。自分でまわしながら跳ぶのは思ったより難しかったようで、「やっぱりおおなわがいい〜」という声も聞かれました。「頑張れば絶対できるようになるよ！」と励ますと、あきらめずに頑張る子どもたち。一人なわとびができるようになると嬉しそうに報告にきてくれました。跳べる回数もどんどん増え、「〇〇かい、とべたよ!!」と喜び、笑顔を見せていました。

跳び箱もはじめはできなくて、消極的な子も何人かいましたが「はじめからできる人なんかいないんだよ。」「練習をしないと跳べるようにはならないよ」と声をかけ、繰り返し挑戦をしました。跳べるようになるととても嬉しそうで、今度はできない友だちを応援したり励ましたりする姿もありました。そして友だちが跳べるようになったときは自分のことのように喜ぶ姿もあり、ぱんだ組の仲の良さを感じました。

セリフや劇の流れもよく理解し、昨年とは全く違う姿に、私たちも驚かされました。子どもたちの力には目を見張るものがあり、短い期間でこれだけのさまざまなことができるようになるということは、本当に凄いことだと思います。

どの子も前日までしっかり練習をする姿は素晴らしく、子どもたちの努力が詰まった劇になりました。子どもたちのあきらめないでやりとげた姿に、大きな拍手を送りたいと思います。

保護者の皆さまには、お忙しい中ご参加いただき、あたたかいご声援をありがとうございました。

